

◆日中友好人物伝

中国人留学生の父
松本 亀次郎

3月6日、静岡県掛川市に、魯迅や周恩来をはじめ、約2万人の中国人留学生に日本語を教えた一人の教師の功績をたたえる「鶴峯堂」が完成した。いま、教育を通じた日中友好への貢献が再評価されている松本亀次郎。その生涯を紹介する。(本紙広報部)



まつもと かめじろう
松本 亀次郎
1866 ~ 1945

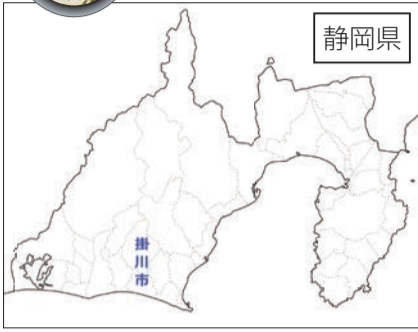


Table with columns: 西暦 (Western Calendar), 和暦 (Japanese Calendar), 年齢 (Age), 出来事 (Events). It lists key life events of Matsumoto Kamejirou from 1866 to 1945, including his education, teaching career, and the founding of the Japanese language school for Chinese students.

＝松本亀次郎年譜＝



①『佐賀県方言辞典』の原稿(写真提供:掛川市)



亀次郎が編集した日本語教科書(写真提供:掛川市)

日本の戦国時代末期、武田信玄と徳川家康が争奪戦を繰り広げた高天神城跡。その北に位置する静岡県掛川市上土方嶺向で、1866年、松本亀次郎は誕生した。

父親は木挽き職人。亀次郎は家業を手伝いつつ勉強し、11歳で授業生の試験に合格すると、自ら勉強をしながら教壇にも立った。1884年、静岡師範学校入学。卒業後に中等教員免許を取得すると、静岡県、三重県、佐賀県の尋常師範学校の国語科教諭を歴任した。佐賀県時代に編集した『佐賀県方言辞典』(①)は日本で最初



魯迅
1881 ~ 1936

の方言辞典である。さて、日清戦争の敗戦から近代化の必要性を感じた中国(清)は、日本に多くの留学生を送った。ところが日本ではその受け入れ体制が整っておらず、中国人留学生のために設立された宏文学院(②)では日本語教師を必要としていた。そこへ、方言辞典で実証的成果をあげた亀次郎に白羽の矢が立てられた。1903年、招きに応じて上京した亀次郎は、優秀な中国人留学生たちに感動したという。特に、のちの文豪・魯迅の言語感覚には驚嘆。「其の訳文が

初めから且つ流暢である。から、同志間では『魯迅』と云って訳文の模範として推重したといふ事である」と、「隣邦留学生教育の回顧と将来」(昭和14年4月号『教育』、岩波書店)に記している。

1908年、亀次郎の教育は中国にも知られ、京師法政学校(北京大学の前身)の教授として北京に移った。しかし、1912年、辛亥革命で情勢が急変し帰国。1914年、私塾を投じて「日華同人共立東亜高等予備学校」(③④)を創立した。東亜高等予備学校の学生には、のちの中国初代首相・周恩来がいた。彼は後年、修学旅行で京都・奈良へ行ったことをよく人に語っている。この修学旅行には、中国人留学生たちが日本で見聞を広めることで日中友好が進んでほしい、という亀次郎の願いが込められていた。



周恩来
1898 ~ 1976

長、松本亀次郎記念日中友好国際交流の会の鷺山恭彦会長のほか、日中友好を研究する中国の大学教授や教え子の子孫もオンラインで参加した。

鶴峯堂の名称は、多くの和歌を詠んだ亀次郎が自らを「鶴峯」と号していたことに由来する。高さ5・6メートル、広さ11平方メートル。ヒノキで作られたお堂の内側には、亀次郎ゆかりの場所を示した地図や、周恩来などの教え子を紹介するパネルが4枚展示されている。中国から参加した教え子の関係者は、「和成式には、松井三郎市

ろう人形と鶴峯堂

日中友好に尽力した功績を、後世へ

2019年3月、中国天津市から掛川市(生家跡)に、亀次郎の功績を伝える「鶴峯堂」が完成(⑥)。落成式には、松井三郎市

は私たちの大きな励み。日中友好交流を受け継いでいく」と日本語で話した。「中華留学生教育小史」のなかで、亀次郎は、日中両国の親善を図るために「両国の一般国民は互いに広い心を持ち、一時的な政治・経済の紛争に惑わされることなく、国民同士は親しみをもち続けて欲しい」と訴えている。そのような想いも、鶴峯堂は亀次郎の功績と共に後世へ伝えていく。(敬称略)

参考文献・『松本亀次郎の生涯』周恩来・魯迅の師』武田勝彦著、早稲田大学出版部協力・静岡県掛川市立大東図書館

これは、周恩来が亀次郎の元で学んでいた当時の2人を、写真や資料をもとに再現したもの。除幕式には、中国天津市の周恩来記念館の王超超館長や、周恩来の姪も出席した。そして2021年3月6日、掛川市上土方



⑤松本亀次郎と周恩来のろう人形(静岡県掛川市立大東図書館)



⑥八角屋根が美しい「鶴峯堂」=静岡県掛川市上土方嶺向・松本亀次郎公園(写真提供:@kita_kita_san)



②宏文学院(弘文学院)跡地=東京都新宿区西五軒町(2021年3月、本紙撮影)



③亀次郎が創立した日華同人共立東亜高等予備学校(写真提供:掛川市)



④東亜高等予備学校跡地=東京都千代田区立神保町愛全公園(写真提供:東京都千代田区日中友好協会)